

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【公表番号】特表2008-532674(P2008-532674A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-501413(P2008-501413)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/00 (2006.01)

A 6 1 M 11/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/00 D

A 6 1 M 11/08

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月21日(2009.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医薬を吸入によって送達するための吸入器であって、

キャニスタ(105、...)であって、基部および頭部を有し、医薬を収容するチャンバを画成する本体(123、...)と、前記本体(123、...)から延びる弁棒(125、...)とを備え、使用時に前記キャニスタ(105、...)が作動されると前記弁棒から医薬が送達される、キャニスタ(105、...)と、

前記キャニスタを受けるハウジング(111、...)を有する主本体(103、...)、および前記キャニスタ(105、...)を作動させるための作動機構(109、...)を備える作動装置と、を備え、

前記作動機構(109、...)が、装填部材(161、...)を備え、該装填部材(161、...)は、前記キャニスタ(105、...)に嵌められ、または前記キャニスタ(105、...)に含まれ、かつ、装填部分(175、...)を備え、

該装填部分(175、...)は、前記キャニスタ(105、...)の前記本体(123、...)の前記基部から離隔されて配置され、使用時に作用を受けて、前記装填部材(161、...)を、作動方向において、第1の休止位置から、前記キャニスタ(105、...)が医薬を送達するように作動される第2の作動位置へと駆動し、

前記作動機構(109、...)がさらに、少なくとも1つの作動部材(163a、b、...)を備え、該作動部材は、医薬を送達するために前記キャニスタ(105、...)を作動させるように、前記装填部材(161、...)を前記作動方向における前記作動位置へと駆動するよう、使用者によって作動させることができ、

前記少なくとも1つの作動部材(163a、b、...)が、前記ハウジング(111、...)に対して第1の休止位置から第2の作動位置へと枢動運動するように、前記ハウジングに枢動式に結合され、前記第2の作動位置において、前記装填部材(161、...)が、医

薬を送達するために前記キャニスタ（１０５、…）を作動させるように、前記作動方向において前記作動位置へと駆動され、

前記少なくとも１つの作動部材（１６３ a、b、…）が、把持要素（１７７、…）を備え、該把持要素は、前記ハウジング（１１１、…）の長さに沿って延び、前記キャニスタ（１０５、…）を作動させる際に前記使用者によって把持および押下されるように構成される、吸入器。

【請求項２】

前記装填部材（１６１、…）が、前記キャニスタ（１０５、…）の前記本体（１２３、…）の前記基部を覆って配置される、請求項１に記載の吸入器。

【請求項３】

前記装填部材（１６１、…）が、前記キャニスタ（１０５、…）の前記本体（１２３、…）の外周面の周りに嵌められたスリーブ（１７１、…）と、前記スリーブ（１７１、…）の一端において、前記キャニスタ（１０５、…）の前記本体（１２３、…）の前記基部に係合する端部分（１７３、…）と、前記スリーブ（１７１、…）の他端において前記装填部分（１７５、…）とを備える、請求項２に記載の吸入器。

【請求項４】

前記装填部材（１６１）の前記スリーブ（１７１、…）が、実質的に、前記キャニスタ（１０５）の前記本体（１２３）の前記頭部へと延びる、請求項３に記載の吸入器。

【請求項５】

前記装填部材（１６１、…）の前記装填部分（１７５、…）が、実質的に環状の部分を備える、請求項３または４に記載の吸入器。

【請求項６】

前記装填部材（１６１、…）が、実質的に、前記キャニスタ（１０５、…）の前記本体（１２３、…）の前記頭部に取り付けられる、請求項１に記載の吸入器。

【請求項７】

前記装填部材（１６１、…）の前記装填部分（１７５、…）が、実質的に環状の部分を備える、請求項６に記載の吸入器。

【請求項８】

医薬を送達するために前記キャニスタ（１０５、…）を作動させるように、前記装填部材（１６１、…）を前記作動方向において前記作動位置へと駆動させるよう、少なくとも１つの作動部材が前記第１の休止位置から前記第２の作動位置へと枢動するときに、前記装填部材（１６１、…）の前記装填部分（１７５、…）に係合するための装填要素（１７９、…）を、前記少なくとも１つの作動部材（１６３ a、b、…）が備える、請求項１から７のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項９】

前記把持要素（１７７、…）が、枢動要素（１７６、…）から、前記ハウジング（１１１、…）の長さに沿って延び、前記装填要素（１７９、…）が、前記枢動要素（１７６、…）から内向きに延びる、請求項８に記載の吸入器。

【請求項１０】

前記ハウジング（１１１、…）が、少なくとも１つの側方開口部（１４９ a、b、…）を備え、該側方開口部内に、作動部材（１６３ a、b、…）のうちの前記少なくとも一方が、前記使用者によって押下されるために配置される、請求項１から９のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１１】

前記作動機構（１０９、…）が、反対側方向に向けられた関係となるように配置された第１および第２の作動部材（１６３ a、b、…）を備える、請求項１から１０のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１２】

前記作動機構（１０９、…）が、少なくとも１つのトグル要素（１８１、…）をさらに備え、前記トグル要素は、通常、前記装填部材（１６１、…）を作動方向と反対方向に付

勢するように作用し、予め決定可能な作動力を前記装填部材（１６１、…）へと作動方向に加えるとき、第１の休止配置と第２の作動位置との間で変形するように構成される、請求項１から１１のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１３】

前記少なくとも１つのトグル要素（１８１、…）が、細長弾性要素を備え、前記細長弾性要素は、作動方向に対して実質的に垂直に延び、通常、前記装填部材（１６１、…）を作動方向と反対方向に付勢する第１の弓なり形状となるように前記装填部材（１６１、…）に係合し、前記作動力を加えると、第２の反対の弓なり形状へと変形し、それによって前記キャニスタ（１０５、…）の作動を可能にする、請求項１２に記載の吸入器。

【請求項１４】

第２の弓なり形状が、安定状態ではなく、そのため、前記作動力が解放されると、前記少なくとも１つのトグル要素（１８１、…）が、前記第１の弓なり形状に戻り、それによって前記装填部材（１６１、…）を前記休止配置へと戻す、請求項１３に記載の吸入器。

【請求項１５】

前記作動機構（１０９、…）が、前記キャニスタ（１０５、…）の両側に配置された第１および第２のトグル要素（１８１ a、b、…）を備える、請求項１２から１４のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１６】

前記主本体（１０３、…）が、前記キャニスタ（１０５、…）の前記弁棒（１２５、…）を受けるノズルブロック（１３３、…）を備える、請求項１から１５のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１７】

前記ハウジング（１１１、…）が、出口部材（１１３、…）を備え、該出口部材を通じて前記使用者が使用時に吸入する、請求項１から１６のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項１８】

前記出口部材（１１３、…）がマウスピースである、請求項１７に記載の吸入器。

【請求項１９】

前記作動機構は、コミットメント特徴部を備え、前記使用者が所定の閾値の力と少なくとも等しい力を前記把持要素（１７７、…）に加えるときに、作動部材（１６３ a、b、…）のうちの前記少なくとも一方が前記第１の休止位置から前記第２の作動位置へのみ駆動することができるように、前記コミットメント特徴部が構成および配列される、請求項１から１１のいずれか一項に記載の吸入器。

【請求項２０】

請求項１から１９のいずれか一項に記載の前記吸入器の、前記作動装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５８】

本実施形態では、少なくとも１つのトグル要素１８１が、通常ばね金属で形成される細長弾性要素を備え、要素は、装填部材１６１の運動方向に対してほぼ垂直に延び、作動部材１６３ a、１６３ bの装填アーム１７９の反対側で装填部材１６１の装填部分１７５に係合し、通常、装填部材１６１を上向きに付勢する第１の弓なりの構成（形状）となり、所定の作動力が加えられると、第２の反対の弓なりの構成（形状）へと変形しまたは切り替わり、それによってキャニスタ１０５の作動を可能にする。作動機構１０９は、使用者が作動部材１６３ a、１６３ bを解放すると、少なくとも１つのトグル要素１８１が第１の弓なり構成へと戻り、それによって装填部材１６１、したがってキャニスタ１０５および作動部材１６３ a、１６３ bが休止または非動作構成へと戻されるように、第２の弓なり構成が、非安定状態となるように構成される。